

令和2年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 健康福祉 部 地域福祉 室 地域・高年福祉 課

1. 基本情報

601

施設名	伊丹市立地域福祉総合センター（いたみいきいきプラザ）		
施設の設置目的	市民の地域福祉活動を支援するとともに、地域福祉の総合的な推進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 支え合いを基調とした地域福祉 主要施策： 支え合ってつくる福祉のまち		
指定管理者の名称	社会福祉法人 伊丹市社会福祉協議会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市広畑3丁目1番地		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31年 4月 1日 ～ 令和 6年 3月 31日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	利用者数 (単位： 人)	
	指標の意味	いきいきプラザへの年間来館者数	
	今年度の目標値	60,000	今年度の実績値 38,495

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H28	H29	H30	R元	R2 (上期)	R2 (通期)
	来館者数 (人)		62,711	78,900	71,388	67,509	59,311	14,852
貸し室稼働率 (%)		33	59	56	57	49	44	54

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	3カ年平均	
収入	使用料収入	0	0	0	0	
	事業収入	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	指定管理委託料	28,305	29,908	24,413	27,542	
	①合計	28,305	29,908	24,413	27,542	
支出	維持管理	光熱水費	5,832	5,496	4,719	5,349
		清掃等委託料	8,740	8,753	8,733	8,742
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	299	297	295	297
	運営	人件費	11,453	12,247	7,859	10,520
		事業等経費	2,017	2,294	1,854	2,055
		その他	0	0	0	0
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	28,341	29,087	23,460	26,963		
純収支 (①-②)		△ 36	821	953	579	

		H27	H28	H29	H30	R元	R2
施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※	市の収入	603	614	616	771	575	524
	(内、使用料収入)	29	30	34	0	0	0
<単位:千円>	市の支出	28,402	30,318	28,882	37,010	101,363	24,837
	(内、指定管理委託料)	27,282	28,223	28,121	28,305	29,908	24,413
	実質経費 (歳出-歳入)	27,799	29,704	28,266	36,239	100,788	24,313

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業者等と協定内容等を協議し、点検時に立会確認し、清潔に保たれている。緊急事態宣言発令等に伴い、ロビーのテーブル・椅子の増減管理を行った。	A	仕様書に基づき、適正に維持管理され、館内も清潔に保たれ、修繕も適切に実施されている。また、空調機器の故障に際しては、市と連携し仮設空調機器の設置など、施設環境の改善に取り組んだ。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	人権研修について「高齢者虐待」「障害者虐待」をウェブ上にアップし、職員へ実施した。	B	適正に実施されている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	入居団体等に毎年消防・防災計画を作成し、役割を共有した。	B	適正に実施されている。
		避難訓練を実施しているか。	A		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により施設閉鎖となり、緊急事態宣言中の活動は中止となった。	B	施設運営連絡会を開催し利用者の意見を施設運営に取り入れている。また、苦情やトラブル等もなく、適切なサービスが提供されている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	1階ロビーにてボランティア団体等による催しや事業紹介を実施したが、緊急事態宣言中の活動が中止となった。	B	適正に実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	A	メールニュースとして情報を随時配信し、最新情報を判り易く提供。ロビー占有許可については、申請書とともに一元管理。	B	適正に実施されている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	A		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	毎月の収支報告書を作成し期日に応じて市へ提出。	B	適正に実施されている。
経理処理は、適切に行っているか。		A	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	施設は清潔に保たれ、設備も保守管理されており、適正な管理運営がなされているとともに、利用者の意見を取り入れた施設運営を行うことにより利用者満足度を高い水準で維持している。また新型コロナウイルス対応においては、情報の掲示や利用者への周知徹底等、市と連携し迅速な対応が行われた。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】

実施の有無	主な回答	主な対応
無し		
回答者数		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置